

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌

特集1

ひろしまポップカルチャー2017
アジアと、世界をつなぐ、
ポップカルチャー



国内外の参加者が交流 新しい情報発信と交流のかたちへ

2017年8月26日(土)、27日(日)、広島市中区・旧日本銀行広島支店や頼山陽史跡資料館を会場に、ポップカルチャーをテーマにした情報発信型交流イベント「ひろしまポップカルチャー 2017」が開催されました。有識者によるシンポジウムやアニメ音楽コンサート、コスプレパフォーマンスやアイドルを目指す若者達のステージなどのほか、『この世界の片隅に』の片淵須直監督の講演、人気声優・関智一さんのトーク、学生達の展示発表など、盛りだくさんの内容に2日間で2800人以上の方が来場。中国や韓国からもコスプレイヤーが多数参加。ポップカルチャーをテーマに交流を深めました。

初日は有識者によるシンポジウムや音楽コンサートなど

日本のアニメーションやマンガ、ゲームなどのポップカルチャーは今や世界中の若者を中心に広く楽しまれています。こうしたポップカルチャーをテーマに、国際的な交流も視野に入れたイベントが「ひろしまポップカルチャー 2017」です。主催となったのは広島でメディア芸術文化に携わる行政や教育機関、市民団体、報道関係からなる広島ポップカルチャー交流促進委員会。共催には広島の音楽文化の発展を通じ平和の心を発信するNPO法人音楽は平和を運ぶ(松尾康二理事長)。

第一日目となった26日(土)は、「ポップカルチャー最前線～現状と期待、展望」というテーマのシンポジウムが行われました。第一部では国際オタクイベント協会(IOEA)代表の佐藤一毅氏、フランスをはじめ各国でアニソンライブを行う長尾晃裕氏(GOMA STUDIO 代表)、コスプレイベントを

主催し、広島をはじめ海外でも積極的にコスプレを紹介する河口知明氏(コスカレード代表)らによるトークが行われ、それぞれの視点から海外や広島でのポップカルチャーイベントの現状や可能性について紹介されました。続く第2部では、中国でのポップカルチャーの動向に詳しい古市雅子氏(北京大学外国語学院副教授)や東欧の社会や文化、アニメーションなどの表象文化が専門の越村勲氏(東京造形大学教授)、日本アニメーション学会会長の小出正志氏(東京造形大学教授)、女性向けマンガや国際的な視点からのマンガ研究が専門のユー・スギョン氏(京都精華大学国際マンガ研究センター研究員)らが登壇。まさに第一線の研究者によって日中韓をはじめ、国際的な視点からポップカルチャーの動向について討議が行われました。

さらに、アニメ音楽コンサートでは、「横山菁児アニメセレクション」と題し、広島出身で世界的人気作曲家横山菁児が作曲を手がけたアニメ「キャプテンハーロック」



「聖闘士星矢」やカープ応援歌「燃える赤ヘル僕らのカープ」のコンサートが演奏やCDにより行われました。また、「映像音楽を志す作曲家によるアニメ音楽セレクション」として広島出身の映像作曲家渡邊崇（大阪音楽大学特任准教授）が指導する大阪音楽大学ミュージッククリエイション専攻の学生が編曲した曲をあきクラシックコンサート実行委員会を中心としたメンバー達が演奏を行い、聴衆を魅了しました。

2日目は有名監督・人気声優の講演やトーク、コスプレステージなど



2日目の27日（日）は有名監督・人気声優の講演やトーク、さらに日本・中国・韓国などからのコスプレイヤーによるステージなど多彩なゲストが出演。

戦前戦中の呉・広島を舞台にしたアニメーション映画『この世界

の片隅に』の片渕須直監督による講演では、片渕監督が2014年5月3日にも今回と同じ旧日本銀行広島支店で講演を行った時のこと（「調べて描くアニメーション映画『この世界の片隅に』の世界展」～第15回広島国際アニメーションフェスティバル100日前イベント）なども振り返りながら、映画の準備段階の様子やロングラン上映となった現在の様子などを語られ、会場に集まったファンは熱心に聴き入っていました。

人気声優・関智一さんのトークでは、日頃のアフレコ現場の裏話に続き、ウィスパー『妖怪ウォッチ』や骨川スネオ『ドラえもん』などご担当されている人気キャラクターの声も披露。また声優体験のワークショップコーナーで、会場からの飛び入り参加者や総合学園ヒューマンアカデミー広島校で声優を目指す生徒さん達が、関さんと一緒に映像を見ながらアフレコ体験を行うなど大盛況でした。

また、その他、2日間にわたり比治山大学短期大学部や広島国際学院大学、総合学園ヒューマンアカデミー広島校などでアニメーションやマンガ、イラスト、デザインなどを学ぶ学生達の作品展示、アクトーズスクール広島校の生徒たちによるステージ、新作アニメ映画の情報の紹介なども行われ、ポップカルチャーをテーマに大いににぎわった2日間となりました。広島では様々な国際交流イベントが行われていますが、身近なポップカルチャーをテーマに国際的な交流を掲げる今回のイベントは他に類を見ないものであり、今後の発展を予感させられました。

名 称 「ひろしまポップカルチャー2017」
会 期 2017年8月26日（土）～8月27日（日）
観 覧 10:00～17:00
会 場 旧日本銀行広島支店 頼山陽史跡資料館（庭園・茶室）
入場料 無料
主 催 広島ポップカルチャー交流促進委員会
共 催 NPO法人 音楽は平和を運ぶ
後 援 中国経済産業局、広島県、広島市、広島県教育委員会、
広島市教育委員会、広島市文化財団、中国新聞社、中国放送、

広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、NHK広島放送局、
広島エフエム放送、FMちゅーピー 76.6MHz
協 力 大阪音楽大学、総合学園ヒューマンアカデミー広島校、
東京造形大学、新潟大学アニメ・アーカイブ研究センター、
比治山大学・比治山大学短期大学部、広島国際学院大学、
あきクラシックコンサート実行委員会、
International Otaku Expo Association (IOEA)、
コスカレード実行委員会、NPO法人広島アニメーションシティ
広島メディア芸術振興プロジェクト会議、月刊ウェンディ広島

広島国際アニメーションフェスティバルPR事業

リアル謎解き アニメーション作家

謎の失踪 うばわれたフィルムを探せ！！

平成29年7月15日（土）、16日（日）、JMSアステールプラザ市民ギャラリーで広島国際アニメーションフェスティバルPR事業「リアル謎解き アニメーション作家 謎の失踪 うばわれたフィルムを探せ！！」が催されました。このイベントは、会場などでクイズ形式の謎を解きながら、与えられたテーマや課題を解決していくという体験型のゲームイベントです。全国的にファンも多く注目のイベントです。



今回、広島国際アニメーションフェスティバルPR事業として行なわれたイベントでは、突然失踪したアニメーション作家のN氏が

残した手がかりをもとに、参加者が謎を解き進めるというものでした。会場の随所に広島国際アニメーションフェスティバルにちなんだ手がかりや謎の答えなどがちりばめられ、参加者は謎を解きながら同フェスティバルの理念や歴史、魅力などについて知ることができました。



15日は参加者が1チーム6名でチームを作り、制限時間内に謎を解くというスタイル。I LOVE U@あいりさんや劇団小豆組ほかが出演し演劇と謎解きが組み合わされました。16日は参加者が自分のペースでじっくりと謎を解き進める周遊型のスタイル。会場へ詰め掛けた参加者は280名。県外からの参加者や各地の謎解きゲームに参加している熱心なファンも大満足の楽しいイベントでした。

広島国際アニメーションフェスティバルPR事業

リアル謎解き アニメーション作家

謎の失踪 うばわれたフィルムを探せ！！

会 期 2017年7月15日（土）・16日（日）

主 催 リアル謎解き アニメーション作家 謎の失踪 うばわれたフィルム
を探せ！！開催委員会、広島メディア芸術振興プロジェクト会議、
広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会

出 演 (15日) I LOVE U@あいり、劇団小豆組ほか

協 力 アーティスト 村上渚、(株)アップトゥユー、AAIひろしまPlan、
エディオン横川店、(有)木利画材、劇団小豆組、
SHIMIZU R&D OFFICE、Parkour Hiroshima、
比治山大学短期大学部美術科、広島国際学院大学、
リコージャパン株式会社

運営協力 タイムリー 下久

謎制作協力 広島大学ナゾサークルおにラビ

Report ヒロシマの心を世界に2017

中学・高校生が制作したアニメーション作品が上映されました

2年に1度、「愛と平和」を精神とした「広島国際アニメーションフェスティバル」を開催している広島市と広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会では、学校関係者等と連携して、広島市内の中学校・高校の美術部等が取り組む平和や広島をテーマにしたアニメーション制作を支援し、アニメーションによる平和発信を行っています。

被爆72周年の今年、8月6日に広島国際会議場で行われた青少年平和文化イベント「ヒロシマの心を世界に2017」において、中学生、高校生が制作した平和やヒロシマをテーマにしたアニメーション作品の上映会が開催されました。



- ▶ 広島市立二葉中学校美術部作品：「その時」
- ▶ 広島市立庚午中学校美術部作品：「全ての平和に折り鶴を」
- ▶ 広島市立祇園中学校美術部作品：「ありがとう」
- ▶ 広島市立温品中学校芸術部作品：「大切な人たち」
「心のてんびん」
「えんぴつ君と消しゴム君」
「終わりののはじまり」
- ▶ 広島市立大塚中学校美術部作品：「大切な存在」
- ▶ 広島市立基町高等学校創造表現コース作品：「影」

初めてアニメーション制作に取り組んだ祇園中学校の代表者から、作品紹介がありました。上映された作品は、今後、広島市のホームページ等でUPされます。

ポップラ劇場 2017 市民野外上映会

2017年8月19日(土)に広島市中区基町の中央公園西側河岸緑地・基町環境護岸、通称「基町POP'La(ポップラ)通り」にて「ポップラ劇場 2017 市民野外上映会」が開催されました。

今年で10回目の開催となるこの野外上映会。今年はアイルランド神話をもとに、幼い兄妹の大冒険を描いた作品の『ソング・オブ・ザ・シー 海のうた』(トム・ムーア監督、2014年)が上映されました。家族連れなど約220人の来場者が野外上映会を楽しみました。



▶主催

ポップラ・ペアレンツ・クラブ
広島市映像文化ライブラリー



Pickup Information 1

広島国際アニメーションフェスティバル応援事業

▶アニメーションワークショップ「おどろき盤を作ろう!!」

日時 10月1日(日) 14:00~15:00
場所 Edion 蔦屋家電3Fイベントスペース
(広島市南区松原町3番1-1号 EKICITY HIROSHIMA)
内容 回すと絵が動く!? アニメーションの原理が分かる不思議な工作をします。
参加費 無料 要予約

講師 tofukuro(沢田妙) 1979年 広島生まれ / イラストレーター 日々の暮らしや人を見ては手描きによる絵を描いています。雑誌挿画/パッケージデザインなど。
tofukuro.info
(詳しくはエディオン蔦屋家電ホームページ
<https://edion-tsutaya-electrics.jp/hiroshima/>)



▲沢田妙
▶おどろき盤



▶アニメーショントークショー「広島注目の若手作家! さとうもぐも作品上映 & トークショー」

日時 10月1日(日) 16:00~17:00
場所 Edion 蔦屋家電3Fイベントスペース
(広島市南区松原町3番1-1号 EKICITY HIROSHIMA)
内容 ゆるふわ系からオラオラ系まで独特な画風で何でも器用にこなす注目の若手作家、さとうもぐもの憂鬱な世界観を存分にお楽しみ頂けます。

参加費 無料 申込不要
さとうもぐも 1994年生まれ / 比治山大学映像アニメーションコース卒業 / アーティスト / デザイナー / フェイスペインター 広島県を中心に活動中。思ったことを形に、好きな物に好きなように描いています。
<http://mogumoya.cloud-line.com/>



▲さとうもぐも



▲hae

横川ゾンビナイト3 開催決定!

日時 10月27日(金) 15:00~21:00
28日(土) 13:00~21:00

場所 広島市西区横川地区周辺

横川商店街のハロウィンイベントとして注目を集めてきた横川ゾンビナイトが今年も10月27日(金)・28日(土)に開催されます。

広島で常に新しい活動を展開する横川から今年も目が離せません!



『ゾンビ学』の岡本健先生の講演会も開催!

「開講! ゾンビ大学~人生で大切なことはみんなゾンビ映画で教わった」

講師 岡本 健 (奈良県立大学准教授)

日時 10月28日(土) 18:00-19:30

場所 西区民文化センター

講座提供 NPO 広島アニメーションシティ

入場無料、申込不要



特集2

映画『この世界の片隅に』 ロングラン続く
片瀝監督、8月6日に広島へ

ロングラン 10ヶ月超、映画の新たな魅力を伝える

映画『この世界の片隅に』は、昨年11月12日の公開以来、ロングランが続いています。広島市では、八丁座とサロンシネマが交互に引き継ぎ、10ヶ月以上も欠かすことなく上映が続けられています。呉市の呉ポポロシアターは、いったん上映終了したものの、ご当地映画館で観たいという要望に答えて再上映されました。(9月14日まで) 広島・呉の劇場に日本中から多くのファンが訪れて賑わっています。

8月には、主人公すずの夫・周作役の声優・細谷佳正さんの出身地にあるシネマ尾道でも再上映が行われました。

物語には、昭和8年12月に始まり昭和21年1月までの日々が描かれています。映画を観に行く人たちは、自分が映画を観た日は映画の中ではどの場面なのかに思いをはせて、新たな感動を覚え、映画の新たな見方を発見しているようです。



福屋屋上に登場、すずさんスケッチ場面ボード
8月5日のトークショー会場はこの屋上!



監督おかえりなさい! すずさんラムネで乾杯!

福屋八丁堀本店は被爆建物で、映画の中で、すずさんは福屋をスケッチします。その屋上でのトークショーは、参加者全員ですずさんラムネで乾杯して始まりました。監督は、「8月6日には広島に居たいと思った。そう言ったら、その場で式典ゲストの話が決まった。」と話されました。

監督の思いと、それを受け止める広島の思いが、ひとつになった夏。トークショーの途中、司会の八丁座支配人・蔵本さんから、セリフボードに一言といきなり頼まれ、監督が書いた言葉は、「広島はいつ来ても懐かしい所ですね」

この夏、片瀝監督は8月6日を初めて広島で迎える

片瀝監督は、この夏、繰り返し広島に足を運ばれました。

7月29日

●「国際平和シンポジウム 2017 核兵器廃絶への道 ～この世界の分断を越えて」 序破急社長・蔵本順子さんと特別対談

8月5日

- JR 西日本企画の特別イベント(呉市の映画ゆかりの地探訪ウォーク、呉ポポロシアター映画上映) トークショー
- 福屋八丁堀本店屋上アートプロジェクト トークショー
- 八丁座フィルムマラソン「片瀝須直監督特集」オールナイト上映 舞台挨拶

8月6日

- RCC テレビ 2017 平和記念式典中継 ゲスト出演
- RCC ラジオ ゲスト出演
- 八丁座・シネマ尾道での映画上映舞台挨拶

8月27日

- ひろしまポップカルチャー 2017 片瀝須直監督トークショー



ひろしまポップカルチャー 2017 でのトークショーの様子

どんな日でもこの地でも見続けられる映画に

『この世界の片隅に』は夏、特に8月に観たい映画と思われがちですが、「8月6日は特別な日だが、どんな日でも観てほしい。」と福屋屋上でのトークショー終りに監督は話されました。

世界各地での公開も続き、8月11日からは北米公開も始まり、この映画はそれぞれの地でどう受け止められるのか。

呉からの視点で描かれたこの映画は、8月6日だけを特別に描くのではなく、だからこそ、その本質的な重要性を伝えるように思います。

11月9日から福屋催事場で「この世界の片隅に」原画展、11月24日からの広島国際映画祭では凱旋上映が決まっています。

映画はこの先も広島の地に根付いて花を咲かせ、新たな種を世界中に飛ばしていくでしょう。(文・松浦妙子)

▷公式サイト <http://www.konosekai.jp/>

◎この時代・双葉社/「この世界の片隅に」製作委員会

と、様々な場に登場されました。

参考資料

●7月29日 国際平和シンポジウム 2017 核兵器廃絶への道 ～この世界の分断を越えて
(主催: 広島市、広島平和文化センター、朝日新聞社)
<http://www.kansai-square.com/info/2017/06/292017.html>

●8月5～6日 片瀝監督舞台挨拶・トーク・番組出演スケジュールまとめ
<http://ouendan.konosekai.info/archive/katabushi-schedule-20170805-06/>
●ひろしまポップカルチャー 2017
<http://www.hpc2017.jp/lineup/>

Pickup Information 2

こうの史代「この世界の片隅に」原画展（広島会場）

マンガ原稿など原画130点以上に加え、取材ノートや手作り年表、使用した画材道具など貴重資料が展示されます。

また、図録や記念グッズ、原画を忠実に再現した直筆サイン入りアートグラフ（高画質デジタル複製画）といったアイテムの販売も行われます。

日 程 2017年11月9日（木）～11月21日（火）

平日・日曜日：10:00～19:30／金・土曜日：10:00～20:00

※入場は閉場の30分前まで。

最終日は17:00閉場（最終入場16:30）

会 場 福屋八丁堀本店 8階催場

入場料 700円（前売り600円）※高校生以下無料

主 催 TSS テレビ新広島

後 援 中国新聞社・広島県・広島県教育委員会・広島市・広島市教育委員会・呉市・呉市教育委員会

協 力 こうの史代「この世界の片隅に」原画展実行委員会（双葉社・株式会社マット）・序破急（八丁座・サロンシネマ）

広島国際映画祭 2017

『この世界の片隅に』バリアフリー版の上映決定

今年の広島国際映画祭では、『この世界の片隅に』をバリアフリー版で上映します。特別な音声ガイドや日本語字幕を付け、視覚や聴覚に障害がある方にも心から映画を楽しんでいただける内容となっています。

上映後には片淵須直監督のトークショーも行われますので、この一年の中で生まれたたくさんのエピソードが監督自身から伺えます！

上映・トークショー日程は映画祭公式サイトでの発表をお待ちください。
※広島国際映画祭公式サイト <http://hiff.jp/>

《広島国際映画祭 2017》

日 程 2017年11月24日（金）～11月26日（日）

会 場 NTTクレドホール（基町クレド・パセーラ11階）

広島市映像文化ライブラリー・横川シネマ

主 催 広島国際映画祭実行委員会

News

笠井美里さん 総務大臣奨励賞 受賞

比治山大学短期大学部美術科出身の笠井美里さんのアニメーション「MOVE」が「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞を受賞されました。笠井さんは2017年3月に専攻科の映像・アニメーションコースを修了したばかりの若手クリエイターです。



『MOVE』監督／笠井美里 2017年 3分

この賞は総務省総合通信局等が実施しているデジタルコンテンツに関するコンテストの中から特にすばらしい作品を制作し、今後の創作活動が期待される方々に送られるものです。6月1日、東京帝国ホテルにて開催された「電波の日・情報通信月間」記念中央式典にて、総務副大臣より表彰状が授与されました。

受賞作品「MOVE」は、誰もいない勉強部屋で文房具が気ままに遊び始めたらというテーマのCG映像作品です。3月11日広島市映像文化ライブラリーで開催された広島メディア芸術振興プロジェクト～ひろしま映像ショーケースに応募した作品が認められました。この作品は、現在、YouTubeでも観ることができます。

若手クリエイターとして笠井美里さんの益々の活躍が期待されます！

笠井美里さんのコメント

「今回受賞した作品は美術科・専攻科に在籍していた3年間の集大成である修了制作ということで、これからも映像作品を作ろうとしている私にとって大きな自信となりました。制作にあたりご指導いただいた先生方、作品を推薦してくださった関係者の皆様には本当に感謝しています。今回の受賞を励みにこれからも精進し、よりレベルアップした映像作品を制作していきたいです。」

（比治山大学短期大学部美術科ブログ http://blog.hijiyama-u.ac.jp/bj/2017/06/post_509.html）より抜粋して転載



笠井美里さん（2017年6月1日）

広島県 第5回 新県美展（映像系）の入選作品

広島県が主催する第5回 新県美展の表彰式が6月24日、広島県立美術館で行われました。映像系の応募作品は12点（アニメーション8本・実写4本）。入選は6点、入賞は2点（大賞はなし、優秀賞1点、奨励賞1点）でした。

映像系は、「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞を受賞した笠井美里さんが「万年筆のつかいかた」で優秀賞を受賞されました。

入選	作品名	氏名	
優秀賞	万年筆のつかいかた	笠井美里	比治山大学短期大学部美術科
奨励賞	広島音景	戸倉才徳	広島市中区
入選	私の中にある外 私の外にある中	篠原祐木	府中市
入選	u t u r a	太山恵介	広島市南区
入選	e n e m y	郷原由依	比治山大学短期大学部美術科
入選	たまごのダンス	神本理紗	比治山大学短期大学部美術科

◆ Event Information

国際アニメーション・デー 2017 in 広島

広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会では、「国際アニメーション・デー」(10月28日)に合わせて、「広島国際アニメーションフェスティバル」の関連事業として優秀作品特別上映会を行います。多くの方々に優れたアニメーション芸術の世界を堪能して頂くため、全ての会場を入場無料とし、気軽にお立ち寄りいただけるような会場・時間を設定しています。また、広域連携として呉市でも初めて上映会を実施します。世界の優れたアニメーションアート作品を是非この機会にお楽しみください。

上映会日時・会場

横川シネマ・ホール (広島市西区横川町 3-1-12)	10月29日(日)	18:00~
広島市映像文化ライブラリー・2階 ホール (広島市中区基町 3-1)	10月28日(土)	①14:00~ ②18:00~
	11月3日(金・祝)	①10:30~ ②14:00~
呉市立美術館・地下1階 講座室 (呉市幸町入船山公園内)	11月4日(土)	14:00~

※「国際アニメーション・デー」とは、エミール・レイノーが、パリのグレヴァン博物館にて、自ら発明したテアトル・オブティック(視覚劇場)を用い、世界で初めてアニメーションを一般公開した1892年10月28日を記念して、国際アニメーションフィルム協会(ASIFA、<http://asifa.net/>)が2002年に制定した記念日です。

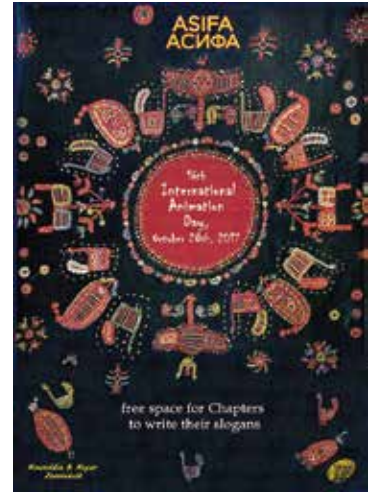


illustration:Nouredin & Negar Zarrinkelk

広島国際アニメーションフェスティバル優秀作品特別上映会「国際アニメーション・デー 2017 in 広島」
主催：広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、広島市、公益財団法人広島市文化財団、国際アニメーションフィルム協会(ASIFA)、ASIFA日本支部

広島国際アニメーションフェスティバル紹介展

10月28日の国際アニメーション・デーを記念して、広島国際アニメーションフェスティバルを紹介するパネル展示を行います。このフェスティバルは、米国アカデミー賞も公認している世界最高峰のアニメーションアートの映画祭です。

第16回大会(2016年)の受賞作品の紹介パネルや世界的な有名アニメーション作家のサインパネルの展示のほか、このフェスティバルにご縁のあった日本のアニメーション作家、監督などのサイン色紙、関連書籍など多数展示します。

日時：10月1日(日)～10月31日(火) 入場：無料 場所：Edion 蔦屋家電1Fラウンジ (広島市南区松原町3番1-1号 EKICITY HIROSHIMA)

広島新銘菓

生もみじ

にしき堂

比治山大学
短期大学部
美術科

50

since 1967

美術科は本年、設立から50周年を迎えました。これまでに3700名の卒業生を送り出した美術科は、これからも広島市と協力して新しい才能を発掘、育成していきます。

客員教授こうの史代原作
「この世界の片隅に」

絶賛、上映拡大中
広島人必見！

マンガ・キャラクターコース

映像・アニメーションコース

メディア芸術はここから

©Uehara

発行日：2017年9月25日 発行部数：5000部 発行：広島市市民局文化スポーツ部文化振興課

編集：NPO法人広島アニメーションシティ(HAC) デザイン：広島国際学院大学 情報文化学部 岡川卓詩研究室・藤尾 晴香・山本 千晶

【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局

〒739-0321 広島市安芸区中野6-20-1 広島国際学院大学 情報文化学部 谷口重徳研究室内

<http://hac.or.jp> Email: hac-jimu@hac.or.jp TEL: 082-820-2710 / FAX: 082-820-2723